



切らずに治す痔の治療 ～ALTA注（ジオン）内痔核硬化療法～



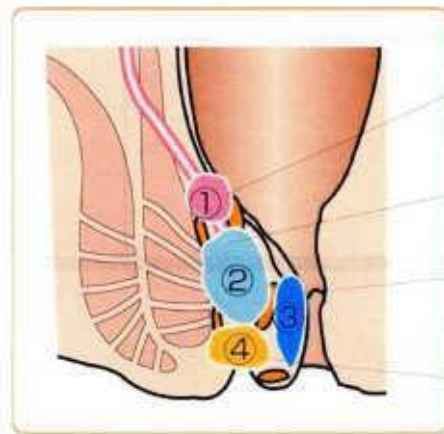
外科 診療科長

北川 克彦

「切らずに治す」というフレーズはどこか怪しげなものがあります。しかし、今日の痔核治療において現実になりつつあります。それがALTA注内痔核硬化療法です。（硫酸アルミニウムカリウム水和物・タンニン酸注射液、ジオン注）ALTA注は平成17年に国内で承認され、薬剤、手技共に保険治請求できる薬剤です。メスを使用せずに注射のみで治療します。ALTA注を四段階注射法という手技で施行します。

注入直後の血流遮断により痔核が縮小し、痔核の間質に炎症を起こします。この炎症が線維化を介して、数週間後には、痔核が硬化・退縮します。

この注射法により、手術に近い根治性が得られると報告されております。某大手肛門診療所では手術の約7割がALTA注内痔核硬化療法に変わったそうです。



投与部位

① 痔核上極部
粘膜下層② 痔核中央部
粘膜下層③ 痔核中央部
粘膜固有層④ 痔核下極部
粘膜下層

対手術に関しまして欠点、利点を簡単に述べますと、痛みが手術と比べてはるかに楽であるが、5年で数%ではあるものの再発率が手術に比べて高く、適応症例が限られていることです。当院外科では手術と併用して、例えば、3か所手術するところを1か所手術、2か所ALTA注内痔核硬化療法を施行することで術後の痛みがかなり軽減し、入院日数がかなり短縮しております。ALTA単独施行例では翌日退院もできます。

ただし適応があります。現状では内外痔核に適応ですが、外痔核の大きな内外痔核症例、肛門ポリープや裂肛、痔瘻の合併症のある症例、急性期（嵌頓痔核）の症例は不可とされています。

現在様々な使用例や使用法が研究、発表されておりますので、将来は適応がかなり広がると予想されます。近い将来には「切らずに治す」が多くの症例で現実になる日も近いと考えます。

～大阪府医師会生涯研修制度の改正について～ (平成22年度より)

【主な変更点】

- ・平成22年3月末まで
主催者側より大阪府医師会学術課に報告→認定証の発行
 - ・平成22年4月1日より
主催者側より参加証の発行→会員より年度末に個別に申請→認定証の発行
- ※チケットの提出は不要となりました。

～子宮頸がん予防ワクチン接種のご案内～

当院では子宮頸がん予防ワクチンの接種を開始いたしました。ご希望の患者様がいらっしゃれば、お電話にて受付させていただきます。よろしくお願い申し上げます。

- 接種日 : 月曜日～金曜日
接種時間 : 午前9時～午前11時30分
接種対象者 : 11歳～45歳 (該当年齢以外の方は要相談)
費用 : 1回¥16,000 (3回接種)

～予約センターのご案内～

地域連携課予約センター 検査・受診予約受付について

当予約センターでは、紹介患者さんの検査・受診予約を承っています。電話で予約頂き、その後直ちに予約票をFAXにて送付させていただきます。

予 約 セ ン タ ー

電話 (代表) 072 - 988 - 1409

FAX (直通) 072 - 982 - 5425

～新任医師のご紹介～

消化器内科 診療部長

釜 鎬^{くわ} 俊^{しゅん} 医師

診察日：毎週木・金曜日

診察時間：午前9時～午後12時

消化器内科 診療科長

やまもと てるひさ

山本 晃久 医師

診察日：毎週木曜日

診察時間：午前9時～午後12時

整形外科 ^{かがわ} 香川 ^{りょうすけ} 亮介 医師

診察日：毎週月・火曜日

診察時間：午前9時～午後12時

内科 大^{おほ}田 宗^{むね}司 医師

社団の理念

最高の医療を提供し、地域社会の健康と健やかな人生に貢献します。

若草第一病院の目標と基本方針

- <目標> 頼りにされる病院
- <基本方針>
 - ・笑顔で接する
 - ・他人に優しく、自分に厳しく
 - ・相手の気持ちになって行動する